

TEIJIN



SUNBURNER®
サンバーナー®

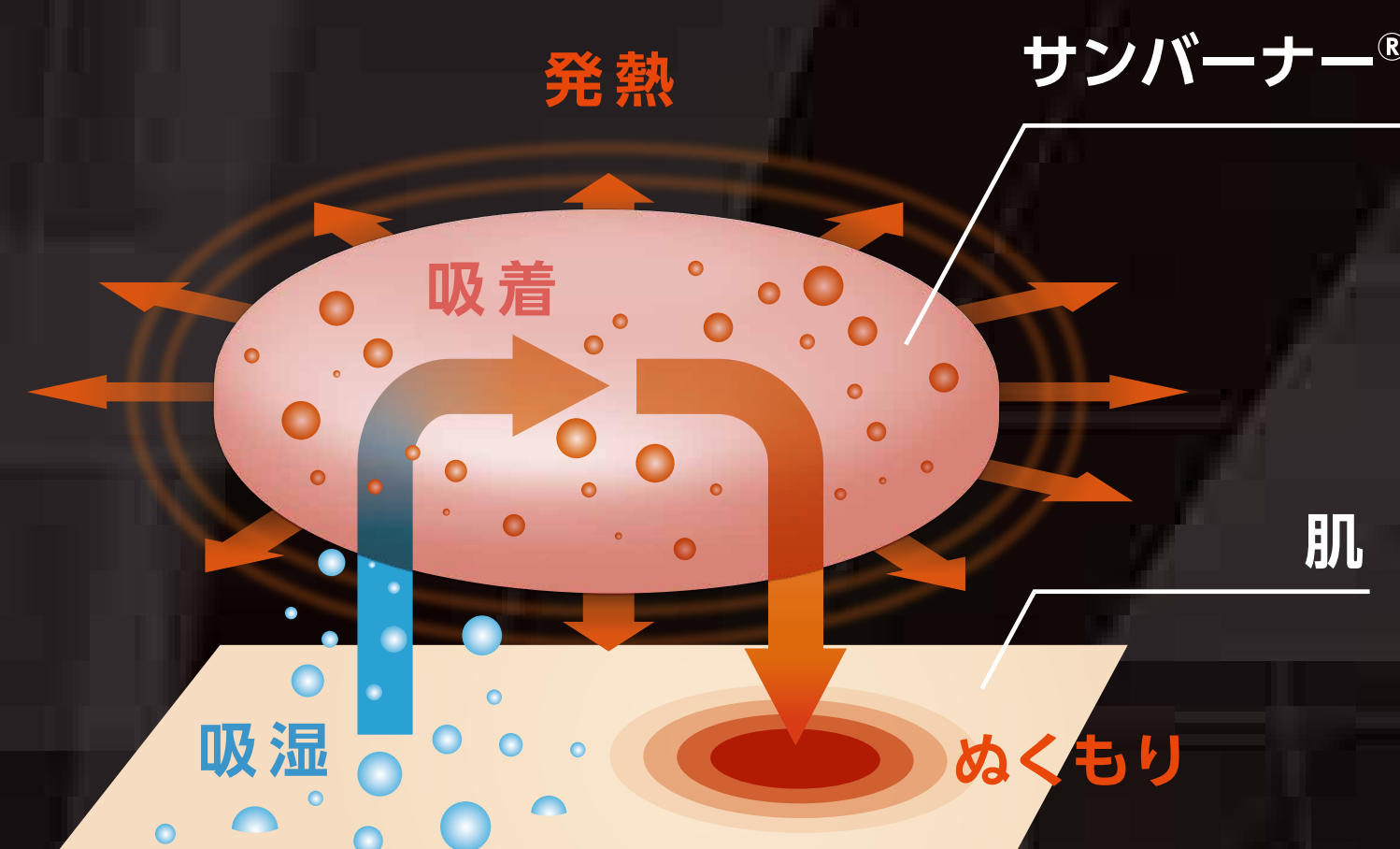
吸湿発熱 & 多機能繊維



吸湿発熱性

メカニズム

繊維が空気中に含まれる水蒸気を吸収するとき、「吸着熱」と呼ばれる熱が発生します。サンバーナー®は、多くの親水基により高い吸湿能力を持ち「吸着熱」を発生させます。



サンバーナー®のメカニズム

各種繊維・素材との比較

各種繊維・素材を一定条件の元、湿度を付与し、それぞれの温度変化を比較したとき、その上昇温度に優位性がみられます。

試験方法: ISO 18782・JIS L 1952-1

試験片の片面(測定面)に低湿度(20℃×約40%RH)の空気を供給し続け、測定面の温度を一定にし、この時の温度を初期温度とする。
供給空気を高湿度(20℃×約90%RH)へ切り替え、その後の測定面の温度変化を経時測定する。

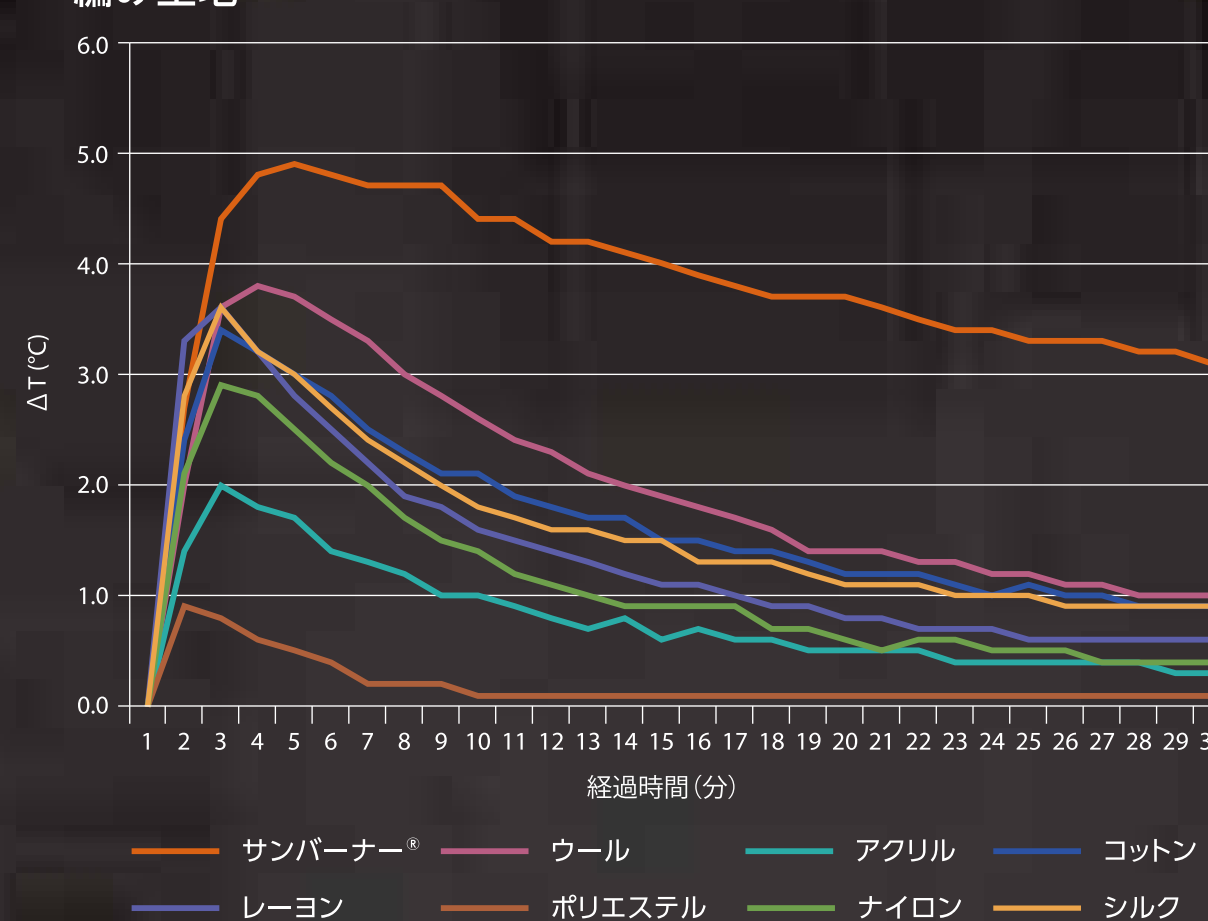
注:

本書記載のデータは、繊維100%、その生地、または特定の混紡素材の測定値であり、保証値ではありません。

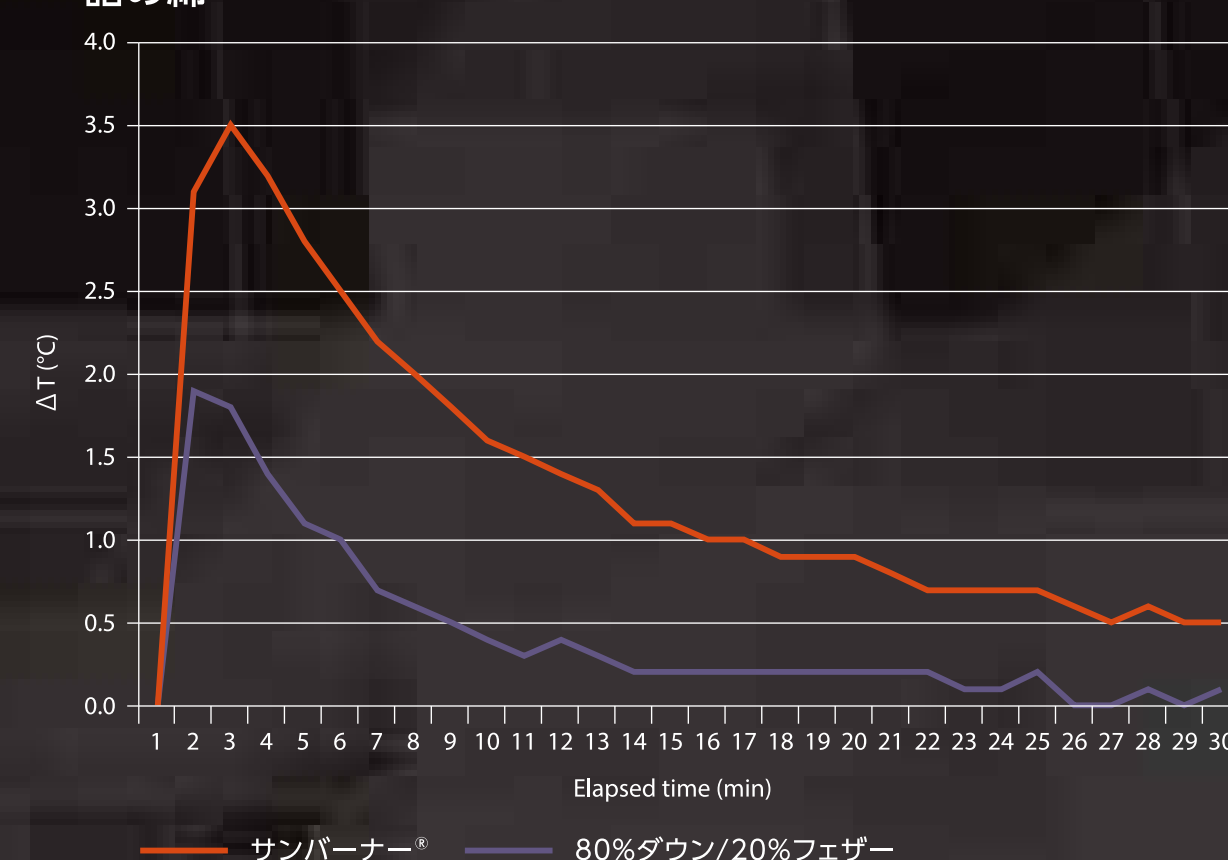
また、混合比率や仕様により性能が異なります。そのため、製品での性能をテストし、そのデータを取得するようお願いいたします。

吸湿発熱 (20℃ x 40%RH ⇒ 20℃ x 90%RH)

編み生地

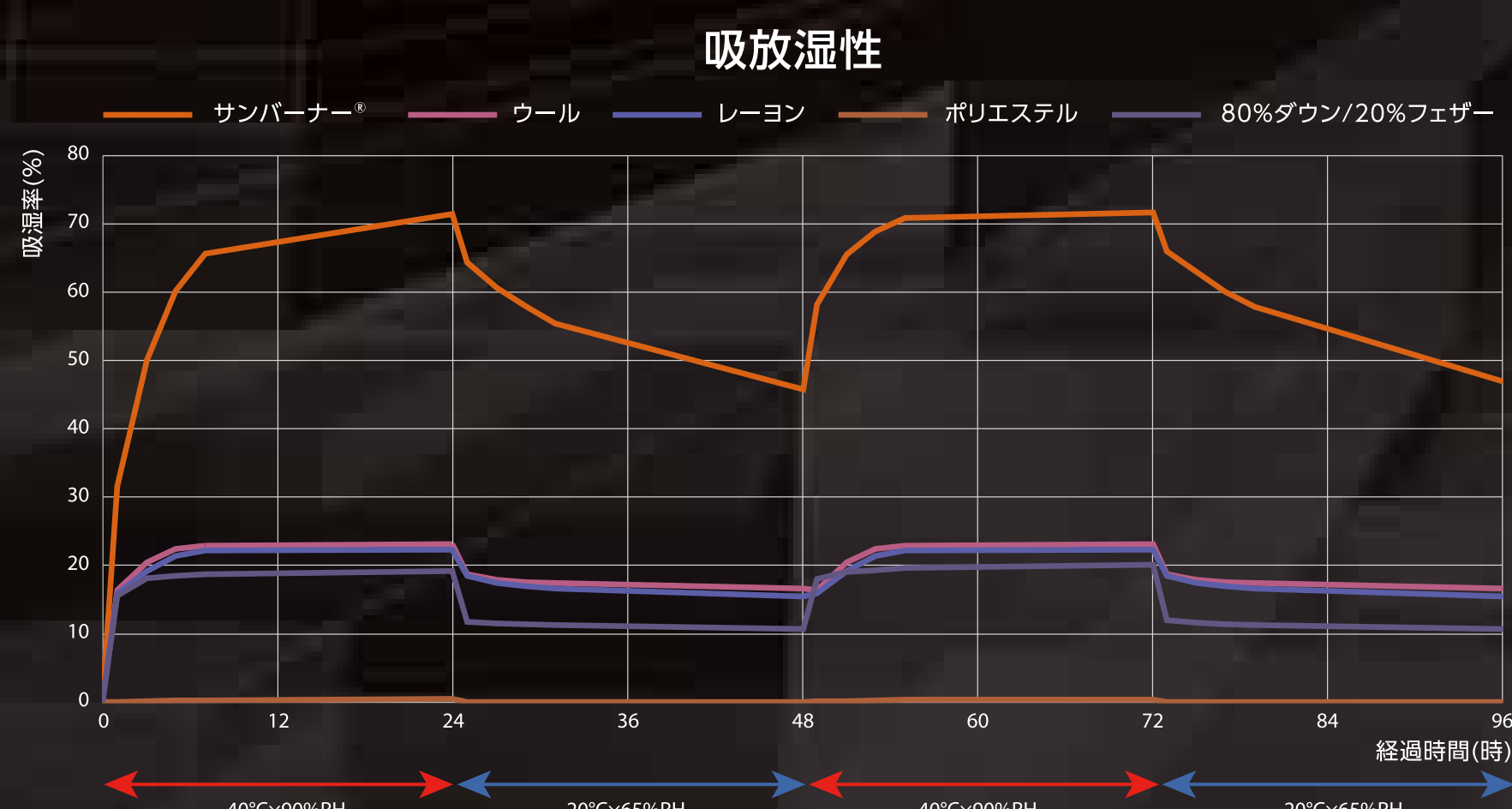


詰め綿



吸放湿性

サンバーナー®は周囲の湿度が高い場合には水分を吸収しやすく、乾燥している場合には繊維内の水分を外部に放出する性質があります。周囲の環境に応じて吸湿・放湿を繰り返します。



安全性

ヒトパッチテスト((株)生活科学研究所:試験番号 HPT-19099)において「安全品」と評価されています。

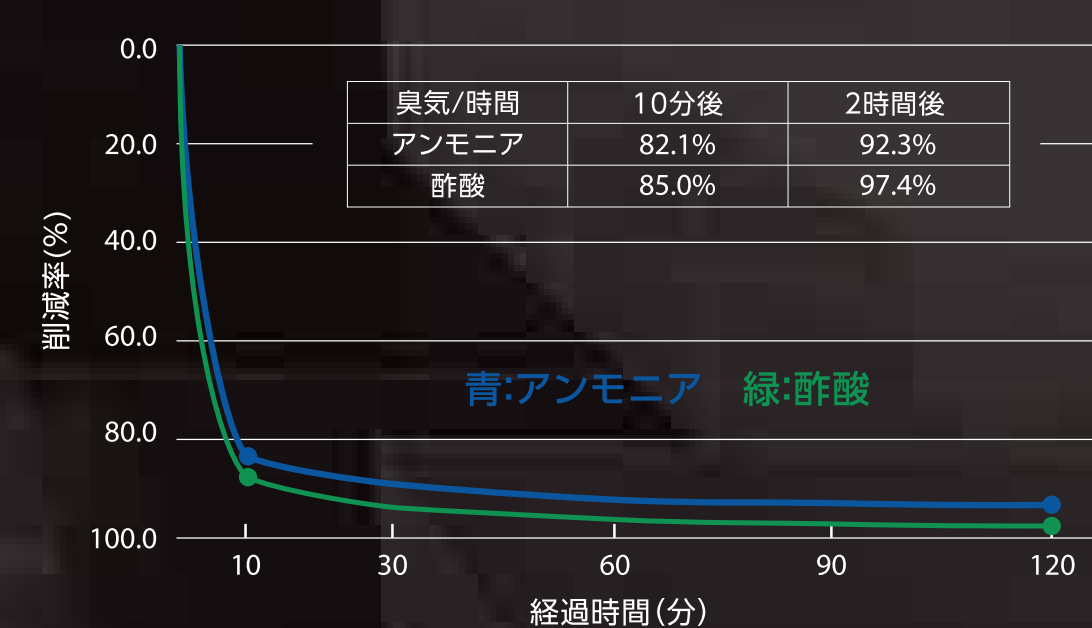


消臭性

酢酸・アンモニア

酢酸やアンモニアなどに対する消臭効果を備えています。しかもスピーディーに効果を発揮します。

酢酸・アンモニア 消臭テスト



試験方法: 繊維評価技術協会・SEKマーク繊維製品認証基準準用試験・検知管法

上記試験方法により、試験開始から10分ごとに2時間後までのデータを取得。

試験試料: サンバーナー®100%原綿

評価基準: 減少率 酢酸≧70%、アンモニア≧80%

試験方法: 被験者20名に対して、被験物質(サンバーナー®原綿100%)約5mg及び対照物質(リント布)を上腕に接触させ、24時間後に除去。
除去1時間後及び24時間後に被験物質接触部位及び対照物質接触部位の皮膚症状を肉眼的に判定するとともに写真撮影を実施。
試験試料: サンバーナー®原綿100%

帝人フロンティア株式会社